



## OB会 新春ご挨拶

コマツユニオン大阪支部  
執行委員長



米田 泰明

新年明けましておめでとうございます。  
皆様健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

まず初めにユニオンも改選により昨年10月から新体制となりました。  
新執行部全員で地道に組合活動を進め、組合員の皆様の力になれるよう努力して  
参る所存ですので、OB会の皆様におかれましては引き続きのご支援ご鞭撻を宜しく  
お願い致します。

まずコマツを取り巻く環境についてお話をさせていただきます。  
皆様もご存じのように金融引き締めによる海外経済の減速や中国経済の先行き懸念、  
ウクライナ情勢や中東情勢等のリスクがある中ではありますが、鉱山機械の好調、値上げが寄与し24年度3月期  
第二四半期決算は、最高益を更新する事が出来ました。ただし今回は円安の恩恵も大きく先行きはまだまだ  
不透明という状況です。

そのような情勢の中、物価の上昇、とりわけ食料品やガソリンなど生活に不可欠な品目の上昇が我々の生活を  
大きく圧迫しています。このような状況下で少しでも補うべく今春闘2024に全力で取り組んで参る所存です。

さて話は少しかわりますが、去年は阪神タイガースが38年ぶりに日本一になったり、エンジェルスの大谷翔平選手が  
日本人初のメジャーリーグ本塁打王に輝くなど、スポーツの世界では嬉しい出来事が数多くありました。  
私個人的には、自分が経験者という事もありますが、ラグビーワールドカップでの日本代表の活躍が印象に残っています。  
日本代表に外国人選手が多く起用されている点には、考えさせられる事が多々ありました。それぞれ違った  
国籍・言語・文化を尊重し合いながら、お互いの個性を活かし理解する。その結果、チームとして最高の  
パフォーマンスを発揮する。これこそが今まさに、コマツも推奨している、ダイバーシティ&インクルージョン  
(多様な人材を受け入れ、その能力を発揮させる考え方)の姿ではないかと思った次第です。

今後の日本は少子高齢化に伴い、労働力人口の減少等、一企業のみならず国としても課題が山積しています。  
そのような時だからこそ、アンコンシャスバイアス(無意識の偏見・思い込み)があっては、あらゆる可能性を  
阻害しかねません。年齢や性別に関係なく、安全・安心に働く事が出来る環境整備・心理的配慮が今後の  
コマツにとっても本当に重要になってくると考えており、そういう環境をいち早く作れた企業・組織は今後益々  
世界中で活躍出来るのだと思います。

結びになりますが、2024年の干支は『甲辰 きのえ・たつ』であります。  
この年は、『成功という芽が成長していき、姿を整えていく』といった縁起の良さを表しているそうです。  
皆様にとっても実り多き一年となる事をご祈念いたしまして新年のご挨拶と代えさせていただきます。

以上